

富士見町民広場 ウォーキングコース



町民広場のウォーキングコースをご紹介します。内まわり約1,300m、外まわり約1,900mの2コースがあり、両コース同時踏破すると約3,100mです。コース内には、交差点や分岐点ごとに方向案内ポスト、また、約200mごとに距離ポストが設置されています。ペース配分の目安としてご利用いただけます。なお、ご自分の体調に合わせて怪我のないようご利用ください。



ウォーキングコース・マップ



- ご利用にあたっては、不慮のアクシデント等に備え単独を避け、必ず複数でご利用ください。
- 町民広場内の施設・自然は皆様の大切な財産です。ゴミの持ち帰りや自然保護にご協力ください。
- コース案内の略図は海洋センター事務所内にありますので、お申し出ください。また、10人以上のグループでご利用の際は事前に事務所へお知らせください。
- 冬期間（12月1日～4月28日）は屋外トイレが使用できません。
- 事務所は月曜日が休館日です。（月曜日が祝日の場合は翌日が休館）

問 海洋センター事務局 ☎62-6126

姉妹町 西伊豆だより

サンゴ群落の「健康診断」―田子湾内 リーフチェッカー

10月2日に田子湾内で「リーフチェック」が行われました。リーフチェックでは、海中のサンゴの生育状況や健康状態を世界共通の基準で調査し、サンゴの増減によって、魚類や自然環境への影響に着目します。田子での調査は2000年から開始され、今年で12回目。毎年、9月下旬から10月上旬を調査時期としています。

横浜市に本部があるNPO法人「コーラル・ネットワーク」の調査チーム8名が、田子港北西部の防波堤付近にある白崎で潜水調査を実施。水深6メートルと9メートルの地点で ①魚類の数を数える係 ②無脊椎動物（ウニ・エビ・貝類など）の数を数える係 ③海底の様子を調査する係に分かれて、田子湾の「健康診断」を行いました。田子の白崎は、台風が直撃しない限り気象状況に左右されにくいいため、良好な調査箇所とのこと。田子湾内のサンゴは、調査開始時から劇的な変化は無く維持されており、今年の調査結果もサンゴの数に若干の減少はあったものの、状態は維持されていました。

台風の影響や、夏場の海水温の高さがサンゴの生育にとっては厳しい環境となっていたようですが、貴重な海の資源を大切に守っていききたいものです。



▲地元の人でも、なかなか見ることのない海中の様子